

福岡県アレルギー疾患医療拠点病院の指定と拠点病院の役割について

1 医療提供体制について

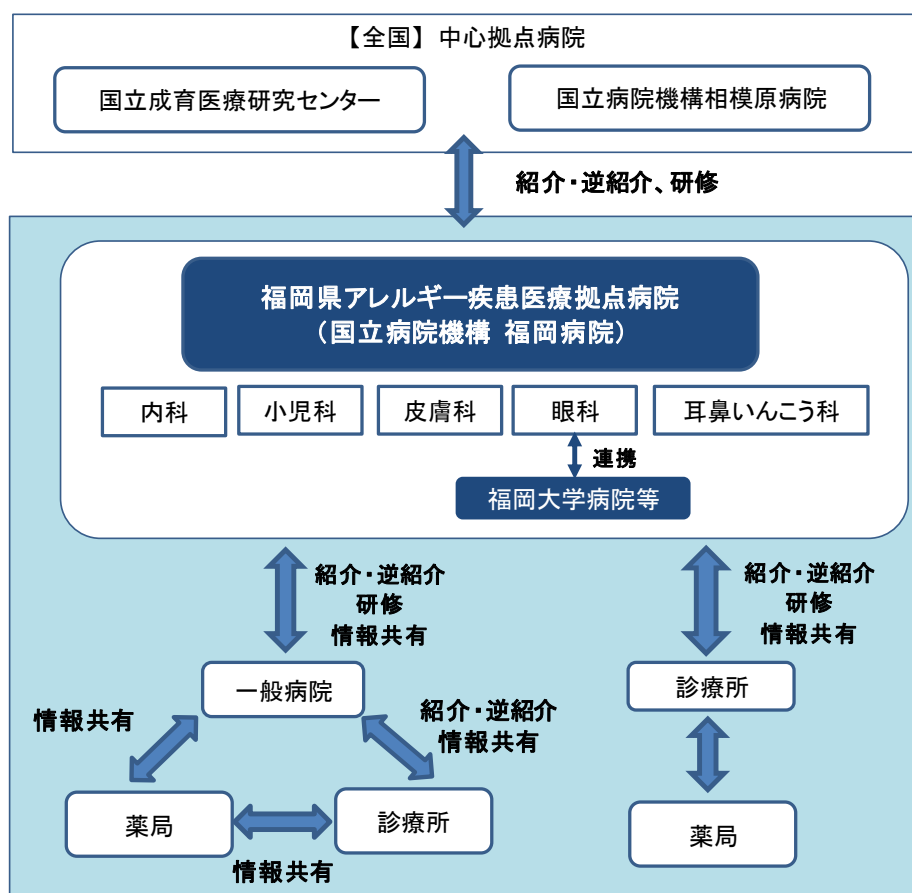
福岡県アレルギー疾患医療連絡協議会を開催し、アレルギー疾患医療提供体制の整備の一環として、アレルギー疾患医療拠点病院（以下「拠点病院」という。）の選定について協議を行った。

協議の結果を踏まえ、平成31年4月1日、独立行政法人国立病院機構福岡病院を拠点病院として指定を行った。

○ 拠点病院選定について

- ・平成30年12月26日（水）第1回協議会
拠点病院の選定要件について協議
- ・平成31年1月
拠点病院選定に係る調査を実施
- ・平成31年3月14日（木）第2回協議会
調査結果をもとに拠点病院の指定について協議

○ 本県におけるアレルギー疾患医療連携体制



<参考1> 拠点病院におけるアレルギー専門医・指導医数

	常勤医師数	(再掲)	
		日本アレルギー学会 専門医数	日本アレルギー学会 指導医数
呼吸器内科	11	4	3
小児科	11	8	4
耳鼻咽喉科	1	1	0
皮膚科	3	1	0
アレルギー科	4	4	1
心療内科	3	1	0
リウマチ科	2	0	0

<参考2> 拠点病院の役割について

「福岡県アレルギー疾患医療拠点病院の指定に関する要綱」（平成31年3月7日施行）より抜粋

(1) 診療

診療が困難な症例や標準的治療では病態が安定化しない重症及び難治性アレルギー疾患患者に対し、関係する複数の診療科が連携し、診断、治療、管理を行う。

(2) 情報提供

アレルギー疾患の重症化の予防には、平時からの自己管理が重要であるため、患者やその家族、地域住民に対するアレルギー疾患に関する適切な情報の提供に取り組む。また、アレルギー疾患医療連絡協議会が企画する、患者やその家族に対する定期的な講習会や地域住民に対する啓発活動等に主体的に取り組む。

(3) 人材育成

福岡県連絡協議会での検討を元に、福岡県でアレルギー疾患医療に携わる医療従事者の知識や技術の向上に資する研修のみならず、保健師、栄養士や学校、児童福祉施設等の教職員等に対する講習の実施に、積極的に関与する。

(4) 研究

福岡県におけるアレルギー疾患の実情を継続的に把握するための調査・分析を行い、福岡県のアレルギー疾患対策の推進を支援する。また、国が長期的かつ戦略的に推進する全国的な疫学研究、臨床研究等に協力する。

(5) 学校、児童福祉施設等におけるアレルギー疾患対応への助言、支援

福岡県の各地域における学校や児童福祉施設等が抱えるアレルギー疾患に関する諸問題に対して、市町村の教育委員会や市町村の関係部局に対し、医学的見地からの助言、支援を行う。